

文教
大学

学生が「草女」作り

合宿で八丈島の歴史学ぶ

【八丈島】文教大学 行った。

国際学部・海津ゆりえ
ゼミナールの学生16人
が8月27日～30日の日
程で八丈島に来島し、
エコツアーリズム合宿を今年で3回目となる
この合宿は、八丈島末
吉地区にある末吉多目
的交流施設を拠点に、
八丈島の自然に直接触

手作りの草女を持つ学生と「えいこば」(2列目中央)

れエコツアーリズムを学
ぶというもので、今年
は「香り」を題材に末
吉エリアでポイントを
決め、現地で調査を行
った。八丈町も令和5
年度に3回、末吉多目
的交流施設で「末小エ
コツアーリズムカレッ
ジ」を開催し、エコツ
ーリズムの拠点にしよ
うと活動している。

合宿中の29日、八丈
島の歴史を学ぶため
「草女(くさめ)作り
ワークショップ」を中
之郷のガーデン荘で開
催。女将の「えいこば
(福田栄子さん)」が
学生たちに草女作りを
教えた。

えいこばがワークシ
ョップに入る前に、草
女の歴史を学生たちに
話した。

草女とは昔流行した
天然痘などの感染症や
虫除けのために、葦の
球根などを頭として鬘
(まげ)を結び紙や葉
っぱなどの衣服を着せ
た人形のこと。紙で頭
を作り布の衣服を着せ
たものなどもあり、中
に自分の髪の毛を入れ
て作ることもあったと
いう。檜立地区では神
の船と呼ばれる藁で作
った一間ほどの船に各
家庭で作った草女を乗
せ、海に流した。他の
地域でも草女を海に流
すことで疫病払いを行
っていたという。

ワークショップで
は、準備された布切れ
や糸を使い、学生たち
が草女作りに挑戦し
た。今回は髪の毛を糸
路についた。

バイリンガル絵本

2作目「足腰神様」を発行

「防災一人語り」絵
本・童話シリーズ制作
グループ(加藤雅代表)
が、英語と日本語を併

で作ったが、黒と黄色
の糸を混ぜてメッシュ
にしたり、三つ編みに
する学生もいて、今風
の草女に仕上がった。

その日の夜は旧暦の
7月26日に当たり、末
吉多目的交流施設で
「六夜様」が行われた。
「六夜様」とは、深夜
に上がるこの日の月の
出を集落皆で待つとい
う江戸時代から続く風
習で、八丈島では末吉
地区だけに残り、山下
奉也町長らも参加して
食事をしながら交流を
深めた。

翌日の30日に飛行機
で帰る予定だったが、
台風の影響で欠航とな
ったため急ぎよ東海汽
船の橘丸に変更し、帰
路についた。

記したバイリンガル絵
本「いのちのぼとん・
LIFE'S RELAY BA
TON」に続く2作目
として「足腰神様」